

2024年のベトナム経済

ベトナム統計総局（GSO）が発表した2024年の経済社会状況報告（暫定値）によると、ベトナム経済は前年を上回る成長を遂げ、主要な経済指標において顕著な成果を収めました。主な指標についてご紹介します。

●GDP（国内総生産）：2024年のベトナムのGDP成長率は7.09%で、当初国会などが設定した成長目標6.0～6.5%を上回り、チン首相が訴えていた7%超を達成しました。製造・加工業9.83%、鉱工業・建設業8.24%、サービス業7.38%の増加で、サービス業のうち宿泊・飲食サービスは9.76%増と、工業・建設部門と観光が高い成長を牽引しました。

●鉱工業生産：鉱工業生産指数は前年比で8.4%増でした。主力の製造・加工業は全体で9.6%の増加で、特に電子機器、通信機器、家電、靴・縫製品などの輸出が経済成長を支えました。

●消費者物価指数（CPI）：2024年の平均消費者物価指数は前年比で3.63%上昇しました。政府の目標上限である4.5%を下回っており、インフレは比較的安定して推移しました。上昇の主な要因は食品・食品サービスおよび住宅・建築資材でした。

●企業活動：2024年には、新規および営業再開企業数が前年比で7.1%増加し、経済活動の活発化が見られました。一方で、倒産件数も前年比14.7%増加しており、競争の激化や市場の変動が影響していると考えられます。

●外国直接投資（FDI）：計画投資省の発表によると、2024年の外国直接投資の総額（新規・増資・出資/株式購入含む）は約382億米ドルで前年比3%減でした。地域別では1位シンガポール（102億米ドル）、2位韓国（70億米ドル）、3位中国（47億米ドル）で、日本は5位35億米ドル。業種別では製造・加工業が全体の6割を占め、不動産業が続きました。

●貿易収支：2024年の輸出総額は前年比14.3%増の4,055億米ドル、輸入額は16.7%増の3,807億米ドルとなり、248億米ドルの貿易黒字でした。主な輸出品目は電子機器、通信機器、主な輸入品目は原材料や機械設備で、依然として最大の輸出先は米国、最大の輸入元は中国でした。

●外国からの観光客：2024年の外国からの旅客数は前年比39.5%増の約1,760万人に達しました。これは、コロナ禍前の2019年実績の97.6%に相当し、観光業の大幅な回復を示すものです。国・地域別では韓国が457万人、中国が374万人、台湾が129万人となっています。

総じて、2024年のベトナム経済は多方面で成長を遂げ、特に輸出が経済発展の主要な推進力となりました。一方で、企業の競争激化やインフレ圧力などの課題も存在し、持続可能な成長のためには引き続き政策的な対応が求められます。

大阪産業局 ベトナムビジネスサポートデスク

株式会社NCネットワーク（ベトナム: NC Network Vietnam JSC.）

日本事務所：東京都台東区東上野1丁目14番5号 ユーエムビル8階

ベトナム事務所：48, No.5 Street, Him Lam, Tan Hung Ward, District 7, Ho Chi Minh, VIET NAM